



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。  
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 主催・主管：(公社)岩手県サッカー協会、キッズ委員会 各地区
- 運営：地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFAキッズリーダー、父母の方々など
- 対象：少年団・クラブチーム・スクール所属のキッズおよび準ずるキッズ（傷害保険に加入のこと）
- 内容：2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した、「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦に固執せず、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分けして（補欠を作らず4~5人制）、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★4~5人制でボールに関わるシーンが多い
- ★混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



**盛岡地区 U-8、U-10**

2018年12月22日(土) 岩手県営体育館

参加人数 230名 (1年生64名、2年生71名、3~4年生95名)



スタッフミーティング



8:30~ 小1の部 開会式で混成チーム分け



小1の部 各コートそれぞれでウォーミングアップ



参加賞 パンの配給



小1の部 集合写真



10:00~ 小2の部



小2の部 集合写真





盛岡地区

U-6

2018年12月23日(日) 盛岡市立 青山小学校 体育館

参加人数 44名

9:00~ 活動開始 クリニックと試合



### 盛岡地区 キッズ補欠ゼロリーグ

- 対象団体： 緑が丘、仙北、アントス、青山、月が丘、松園、太田東、MIRUMAE、山岸、上田、中央、グルージャ、雫石、羽場飯岡、大宮、手代森、厨川、イースト、玉山、OGASA、向中野、南公園、Grows、AOBA、大新、YMCA、県協会月が丘スクール、県協会エリート盛岡スクール
- 運営本部： 大久保和志（盛岡市協会キッズ委員長・月が丘）、石山信三（盛岡市協会キッズ委員・山岸）  
吉田隆一（事務局代行・山岸）、鎌澤和之（県協会）
- 協力： 青山サッカー少年団（河口さん、坂内さん、村山さん）  
※U-6にて、通年でクリニック指導、混成調整、試合管理、冬季会場確保、ありがとうございます！
- 協賛： シライシパン（パン・和洋菓子の製造卸売業）（撮影・編集： 鎌澤）